

# 実地医家における経鼻内視鏡検査の 再評価、及び偶発症についての検討

川口メディカルクリニック  
大家昌源

# 初めに

当院は無床診療所で、消化器内視鏡検査は平成19年より経鼻内視鏡のみ導入し、平成22年6月より経口及び下部消化管内視鏡を追加導入して施行している。

## 採用機器

	システム	スコープ
経鼻内視鏡	富士フィルム sapientia	EG530NW
経口内視鏡	Olympus EVIS LUCERA SPECTRUM	GIF type Q260

# 当院の上部消化管内視鏡検査

2010年6月～2011年9月（16か月）計1302件

そのうち 経鼻 764件（58.7%）

経口 538件（41.3%）

経鼻挿入率 2010年6月～2011年6月

610/640 ⇒ 95.3%

胃癌発見総数 15件 そのうち早期癌 14件

早期癌のうち

経鼻12件（1.57%）      経口2件（0.37%）

# 目的

経鼻内視鏡は一般的に咽頭反射が少なく、経口内視鏡よりも楽と言われているが、今回経鼻内視鏡についての再評価と偶発症についての検討を行った。

# 方 法

**対象**：平成22年6月～平成23年6月までに当院にて施行した上部消化管内視鏡検査1104件中、アンケート調査を施行した514件。

年齢平均61.1歳（15歳～90歳）

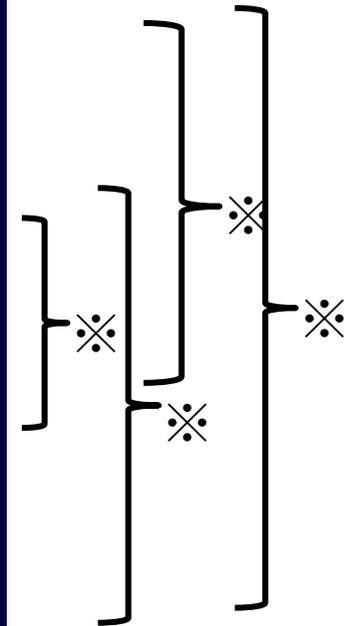
経口+鎮静なし	71例（男35、女36）
経鼻+鎮静なし	265例（男129、女136）
経口+鎮静あり	138例（男36、女102）
経鼻+鎮静あり	40例（男16、女24）

## 検討項目

- 10段階のvisual analogue scale (VAS) を用いて苦痛の程度を各群間で比較評価
- 次回内視鏡検査の希望の調査
- 経鼻内視鏡の偶発症である、鼻痛や鼻出血についての調査

# 結果 - 1

	VAS平均
経口+鎮静なし	3.01
経鼻+鎮静なし	3.20
経口+鎮静あり	2.12
経鼻+鎮静あり	1.80



※ : p < 0.01

## 結 果 - 2

経鼻内視鏡施行例のうち、

• 経口内視鏡経験済み (152例) のVAS平均値

⇒ 2.91

• 経口内視鏡未経験 (113例) のVAS平均値

⇒ 3.57

P<0.05

## 結 果 - 3

経口内視鏡経験済みで今回経鼻内視鏡を  
施行した症例で、次回はどちらを選択す  
るか

⇒ 152例中139例 (91.3%) で経鼻を選択

結果2, 3より ⇒ 経口経験者にとっては経  
鼻は楽と感じている反面、内視鏡未経験  
者にとってはあまり楽とは感じていない

# 鼻痛、鼻出血について

- 鎮静剤なしの265例中81例（30.6%）が少し  
2例（0.8%）が強い  
と回答
- 鼻出血は  
回答のあった305例中8例（2.6%）で  
少量あり  
処置を要する鼻出血はみられなかった。

# 経鼻内視鏡検査での鼻出血と抗血栓薬

## 服用していた抗血栓薬

抗血栓薬	人数
アスピリンのみ	9
ワルファリンのみ	3
アスピリン+クロピドグレル	4
ワルファリン+塩酸サルポグレラート	2
シロスタゾール+アスピリン	2
リマプロストのみ	2
ジピリダモールのみ	1
クロピドグレル+シロスタゾール+ アスピリン	1

# 経鼻内視鏡検査での鼻出血と抗血栓薬

- ・アンケート調査では  
鼻出血は305例中8例 (2.6%)
- ・そのうち抗血栓薬を服用中 (休薬せず)  
の経鼻内視鏡施行例では  
鼻出血は24例中1例 (4.2%)

# まとめ

- 今回の検討では、経鼻内視鏡は経口内視鏡経験者にとっては苦痛が少ないが、内視鏡未経験者にとっては苦痛が少ないとは言い難い。
- 抗血栓薬を服用していても経鼻内視鏡での鼻出血のリスクは高くはならず、鼻出血については他の要因についての検討が必要と思われた。